

水性建築外装用トップコート

シルビアWシリーズ

1液水性アクリル樹脂塗料

シルビアWA-100

1液水性ウレタン樹脂塗料

シルビアWU-200

1液水性シリコン樹脂塗料

シルビアWS-300

1液水性フッ素樹脂塗料

シルビアWF-400



登録品種 登録番号

- シルビアWA-100 ……N03061
- シルビアWU-200 ……N03062
- シルビアWS-300 ……N03015



優れた耐候性と防水性、耐汚染性で 美しい外観を長期間維持します。

「シルビアWシリーズ」は1液型の水性建築外装用トップコートシリーズです。
水性アクリル樹脂「シルビアWA-100」、水性ウレタン樹脂「シルビアWU-200」、
水性シリコン樹脂「シルビアWS-300」、水性フッ素樹脂「シルビアWF-400」の4品種をラインアップ。
それぞれのタイプを生かしながら、
超耐候性、耐久性、密着性などの塗膜性能をいちだんと高めました。
また、強靱な塗膜を形成するため、その効果が長期間持続します。
建物の外壁の美観保護に最適な外装用トップコートです。

製品ラインアップ

製品名	タイプ	荷姿	掲載ページ
シルビアWA-100	1液水性アクリル樹脂塗料	16kg	2
シルビアWU-200	1液水性ウレタン樹脂塗料	16kg	3
シルビアWS-300	1液水性シリコン樹脂塗料	16kg	4
シルビアWF-400	1液水性フッ素樹脂塗料	16kg	5
シルビアWF-400専用中塗		16kg	—
シルビアWプライマー		15kg	—
シルビアWEプライマー		16kgセット (A液:8kg、B液:8kg)	—
NT水性カチオンプライマー		15kg	—

用途

- コンクリート、モルタル面の塗装
- スレート板、窯業系サイディングボード、無機ボードなどの塗装
- 複層仕上塗材のトップコート
- PC板、コンクリートパネルなどの塗装
- 防水形複層仕上塗材のトップコート
- 改修工事のトップコート



シルビアWA-100

「シルビアWA-100」はシルビアWシリーズのなかで、もっともポピュラーな1液常温乾燥型のアクリルエマルション系塗料です。従来の同系の塗料より伸びのある強靱な塗膜を形成。このため付着性や耐水性、耐酸性雨性に優れ、その効果を長期間維持し、外壁の保護と美装に貢献します。

特長

- 1 1液の水性タイプのため、塗料の調合などの作業が不要で、取り扱いも簡単です。
- 2 塗料中には、有機溶剤をほとんど含んでいないため低臭です。このため、居住者や施工者にも安全です。
- 3 従来の同系の塗料よりも耐候性を大幅に向上(耐候性3種試験[サンシャインウェザーメーター 500時間]に合格)。苛酷な環境から建物をまもりまします。
- 4 強靱な塗膜を形成するため、優れた耐汚染性を発揮。汚れのつきにくい、美しい外観を長期間保持します。

標準塗装仕様

工程	材料の調合	施工方法	使用量	回数	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●ホコリ、油分、汚れなどの付着物を除去し、清掃してください。 ●セメント素地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下にしてください。 ●不陸や目違いなどはあらかじめ補修してください。 				
下塗	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート、モルタル無機外装ボードはシルビアWプライマー、またはNT水性カチオンプライマー、もしくはシルビアWEプライマーを使用してください。 ※各種防水形複層仕上塗材(または各種複層仕上塗材)は仕様準じた下塗を使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.1~0.15kg/m ² (生塗料)	—	4時間以上 (23℃)
中塗	<ul style="list-style-type: none"> ●「シルビアサーフ」をはじめ、さまざまな複層仕上塗材の中塗が使用できます。 ●中塗は省略することも可能です。 ●各種防水形複層仕上塗材(または各種複層仕上塗材)の中塗の調合・施工方法・使用量・施工間隔は使用される塗材の仕様準じてください。 ※塗装仕様書をご参照ください。 				
上塗 (2回塗り)	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛・ローラー {シルビアWA-100 ————— 16kg 水 ————— 0~1kg ●スプレー塗装 {シルビアWA-100 ————— 16kg 水 ————— 1~2kg 	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛 ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.12~0.15kg/m ² (生塗料)	2回	2時間以上 (23℃)



シルビアWU-200

「シルビアWU-200」はハイブリッド型・1液常温架橋型の水性アクリルウレタンエマルジョン塗料です。反応性のアクリルとウレタンが一つのエマルジョン中に同居し、水分が蒸発すると粒子の内外で結合する架橋システムを採用。このため、従来のエマルジョン塗料よりも強靱な塗膜を得ることができます。さらに耐候性や耐水性、耐アルカリ性などにも優れており、さまざまな環境から建物をまもります。

特長

- 1 ハイブリッド型架橋システムが耐候性を大幅に向上(耐候性1種試験[サンシャインウェザーメーター 2000時間]に合格)。苛酷な環境から建物をまもります。
- 2 ハイブリッド型架橋システムが親水性塗膜を形成し、汚れのつきにくい、美しい外観を長期間保持します。
- 3 1液の水性タイプのため、塗料の調合などの作業が不要で、取り扱いも簡単です。
- 4 塗料中には、有機溶剤をほとんど含んでいないため低臭です。このため、居住者や施工者にも安全です。

標準塗装仕様

工程	材料の調合	施工方法	使用量	回数	施工間隔												
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●ホコリ、油分、汚れなどの付着物を除去し、清掃してください。 ●セメント素地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下にしてください。 ●不陸や目違いなどはあらかじめ補修してください。 																
下塗	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート、モルタル無機外装ボードはシルビアWプライマー、またはNT水性カチオンプライマー、もしくはシルビアWEプライマーを使用してください。 ※各種防水形複層仕上塗材(または各種複層仕上塗材)は仕様準じた下塗を使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.1~0.15kg/m ² (生塗料)	—	4時間以上 (23℃)												
中塗	<ul style="list-style-type: none"> ●「シルビアサーフ」をはじめ、さまざまな複層仕上塗材の中塗が使用できます。 ●中塗は省略することも可能です。 ●各種防水形複層仕上塗材(または各種複層仕上塗材)の中塗の調合・施工方法・使用量・施工間隔は使用される塗材の仕様準じてください。 ※塗装仕様書をご参照ください。 																
上塗 (2回塗り)	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛・ローラー <table border="0"> <tr> <td>シルビアWU-200</td> <td>—</td> <td>16kg</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>—</td> <td>0.3~1kg</td> </tr> </table> ●スプレー塗装 <table border="0"> <tr> <td>シルビアWU-200</td> <td>—</td> <td>16kg</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>—</td> <td>1~2kg</td> </tr> </table> 	シルビアWU-200	—	16kg	水	—	0.3~1kg	シルビアWU-200	—	16kg	水	—	1~2kg	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛 ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.12~0.15kg/m ² (生塗料)	2回	2時間以上 (23℃)
シルビアWU-200	—	16kg															
水	—	0.3~1kg															
シルビアWU-200	—	16kg															
水	—	1~2kg															

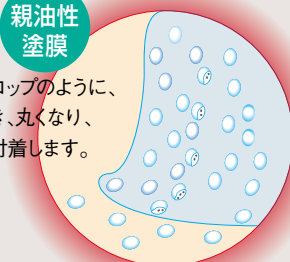
独自の架橋システムと優れた低汚染性で、建物の美観を保持します。

親水性の樹脂で、塗膜表面の汚れを落とします。

親水性の塗膜を形成し、膜表面に付着した汚れを水とともに流し落とします。このため、汚れにくい外観を得ることができます。

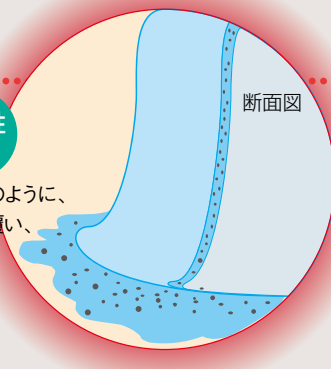
親油性
塗膜

汚れたコップのように、水を弾き、丸くなり、汚れが付着します。



親水性
塗膜

よく洗浄されたコップのように、水を弾かず、コップを覆い、汚れを落とします。



シルビアWS-300

「シルビアWS-300」は耐候性を重視した、1液常温架橋型の水性アクリルシリコンハイブリッドエマルジョン塗料です。アクリルとシリコンを分子レベルでハイブリッド化させることにより、従来は困難だったアクリルとシリコンの相溶性不良を克服し、両者の長をあわせもつアクリルシリコン塗料の開発に成功。抜群の耐候性を発揮し、建造物を苛酷な環境から保護します。また、耐水性能と親水性成分をもつ官能基も導入し、防水性、耐汚染性にも優れた効果を発揮します。

特長

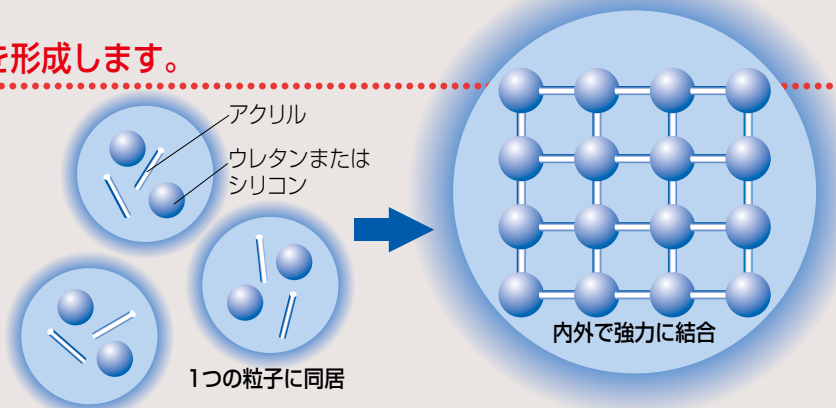
- 1 反応性シリコン自己架橋システムにより、高耐候性を実現(耐候性1種試験[サンシャインウェザーメーター3000時間]に合格)。苛酷な環境から建物をまもりまします。
- 2 親水性官能基の導入により、優れた耐汚染性を発揮。汚れのつきにくい、美しい外観を長期間保持します。
- 3 1液の水性タイプのため、塗料の調合などの作業が不要で、取り扱いも簡単です。
- 4 塗料中には、有機溶剤をほとんど含んでいないため低臭です。このため、居住者や施工者にも安全です。

標準塗装仕様

工程	材料の調合	施工方法	使用量	回数	施工間隔								
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●ホコリ、油分、汚れなどの付着物を除去し、清掃してください。 ●セメント素地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下にしてください。 ●不陸や目違いなどはあらかじめ補修してください。 												
下塗	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート、モルタル無機外装ボードはシルビアWプライマー、またはNT水性カチオンプライマー、もしくはシルビアWEプライマーを使用してください。 ※各種防水形複層仕上塗材(または各種複層仕上塗材)は仕様準じた下塗を使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.1~0.15kg/m ² (生塗料)	—	4時間以上 (23℃)								
中塗	<ul style="list-style-type: none"> ●「シルビアサーフ」をはじめ、さまざまな複層仕上塗材の中塗が使用できます。 ●中塗は省略することも可能です。 ●各種防水形複層仕上塗材(または各種複層仕上塗材)の中塗の調合・施工方法・使用量・施工間隔は使用される塗材の仕様準じてください。 ※塗装仕様書をご参照ください。 												
上塗 (2回塗り)	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛・ローラー <table border="0"> <tr> <td>シルビアWS-300</td> <td>16kg</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>0.3~1kg</td> </tr> </table> ●スプレー塗装 <table border="0"> <tr> <td>シルビアWS-300</td> <td>16kg</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>1~2kg</td> </tr> </table> 	シルビアWS-300	16kg	水	0.3~1kg	シルビアWS-300	16kg	水	1~2kg	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛 ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.12~0.15kg/m ² (生塗料)	2回	2時間以上 (23℃)
シルビアWS-300	16kg												
水	0.3~1kg												
シルビアWS-300	16kg												
水	1~2kg												

柔軟性と強靭さを備えた樹脂を形成します。

反応性のアクリルと、ウレタン(WU-200)やシリコン(WS-300)が1つの粒子中に存在し、水の蒸発によって粒子の内外で強固に結合。強靭な塗膜を形成し、外壁をまもりまします。

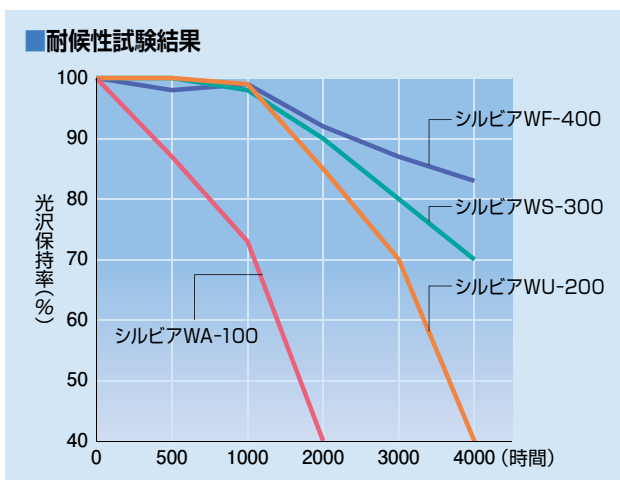


シルビアWF-400

「シルビアWF-400」はシリーズ中最も優れた塗膜性能をもつ1液常温乾燥型の水性上塗塗料です。フッ化ビニリデンをベースにした高フッ素含有のエマルジョンを採用。優れた耐水性、耐候性を発揮し、1液水性塗料では不可能とされていたマジックインキ汚染除去性やカーボン汚染除去性、耐薬品性も有しています。また、親水性成分を組み込んでいるため、従来の溶剤型フッ素樹脂塗料よりも汚染を大幅に低減できます。1液タイプのため作業性も向上。まさに現在のニーズにあった、新しい水性塗料です。

特長

1 フッ化ビニリデンをベースとした高フッ素が超耐候性を実現(耐候性1種試験[サンシャインウェザーメーター4000時間])。抜群の耐候性で建物をまもりまします。



2 高フッ素と親水成分の組み合わせが優れた耐汚染性を発揮。汚れのつきにくい、美しい外観を長期間保持します。

マジック汚染除去性試験結果



3 1液の水性タイプのため、塗料の調合などの作業が不要で、取り扱いも簡単です。

4 塗料中には、有機溶剤をほとんど含んでいないため低臭です。このため、居住者や施工者にも安全です。



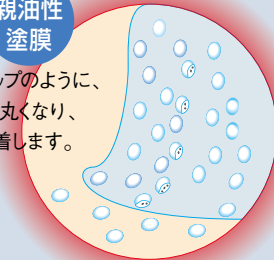
優れた低汚染性で、建物の美観を保持します。

親水性の樹脂で、塗膜表面の汚れを落とします。

親水性の塗膜を形成し、膜表面に付着した汚れを水とともに流し落とします。このため、汚れにくい外観を得ることができます。

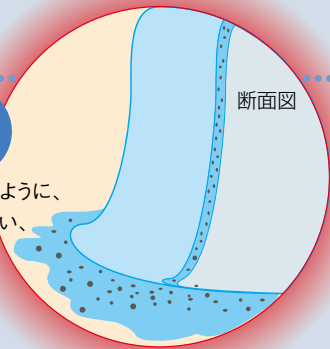
親油性
塗膜

汚れたコップのように、水を弾き、丸くなり、汚れが付着します。



親水性
塗膜

よく洗浄されたコップのように、水を弾かず、コップを覆い、汚れを落とします。



標準塗装仕様

工程	材料の調合	施工方法	使用量	回数	施工間隔
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●ホコリ、油分、汚れなどの付着物を除去し、清掃してください。 ●セメント素地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下にしてください。 ●不陸や目違いなどはあらかじめ補修してください。 				
下塗	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート、モルタル無機外装ボードはシルビアWプライマー、またはNT水性カチオンプライマー、もしくはシルビアWEプライマーを使用してください。 ※各種防水形複層仕上塗材(または各種複層仕上塗材)は仕様に準じた下塗を使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.1~0.15kg/m ² (生塗料)	—	4時間以上 (23℃)
中塗	<ul style="list-style-type: none"> ●「シルビアサーフ」をはじめ、さまざまな複層仕上塗材の中塗が使用できます。 ●中塗は省略することも可能です。 ●各種防水形複層仕上塗材(または各種複層仕上塗材)の中塗の調合・施工方法・使用量・施工間隔は使用される塗材の仕様に準じてください。 ※塗装仕様書をご参照ください。 				
上塗①	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛・ローラー {シルビアWF-400専用中塗 ————— 16kg 水 ————— 0.3~1kg ●スプレー塗装 {シルビアWF-400専用中塗 ————— 16kg 水 ————— 1~2kg 	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛 ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.12~0.15kg/m ² (生塗料)	1回	2時間以上 (23℃)
上塗②	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛・ローラー {シルビアWF-400 ————— 16kg 水 ————— 0~1kg ●スプレー塗装 {シルビアWF-400 ————— 16kg 水 ————— 1~2kg 	<ul style="list-style-type: none"> ●刷毛 ●ローラー ●エアースプレー ●エアレススプレー 	0.12~0.15kg/m ² (生塗料)	1回	—



SILBIAW SERIES

「シルビアWシリーズ」の施工上の注意事項

■素地調整について

- ①粗面やALC面、多孔質下地など、下地に問題がある場合は「NTカチオンフィラー」などを使用し、下地調整を行なってください。
- ②表面のチョーキング、ごみ、ほこり、かび類、藻類、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行なってください。
- ③高圧水洗ができない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、ごみやほこり、かび類、藻類を完全に除去してください。

- ④油分が付着している場合は中性洗剤などを使用し、除去してください。
- ⑤錆が発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去して、金属用のシルビア金属用プライマーMなど金属面に適したプライマーを施工してください。
- ⑥高圧水洗やエアレススプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止の養生を行なってください。

■塗料と塗装について

- ①仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅を生じることがあります。
- ②外壁表面を水洗いした後や雨、露、霜で濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装してください。
- ③降雨、降雪が予測される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。
- ④塗膜が十分に乾燥していないときに降雨や結露などによる水分の影響を受けた場合、塗膜表面が白化や割れ、シミなどが発生する可能性がありますので水分の影響を受ける場合は施工しないでください。また、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。
- ⑤結露の発生する恐れのある場所や換気が不十分な場所での施工は避けてください。仕上がり不良、硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ⑥塗料は必ず規定の配合比で調合し、十分に攪拌後施工してください。また、他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- ⑦一度調合した塗料は必ず可使時間内に使い切るようにしてください。
- ⑧風化面、吸い込みの多い下地の場合には、再度、プライマーを増し塗りしてください。
- ⑨下地の種類によっては下塗り塗料の選定が必要になります。押し出し成型セメント板やPC板、GRCなどの場合は最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ⑩既存塗膜の劣化状況によってはプライマーや目粗しが必要になります。
- ⑪素地の状態は含水率10%以下、pH10以下としてください。
- ⑫塗料の使用量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ⑬シーリング材の劣化などがある場合には打ち替えを行なってください。
- ⑭シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行わないでください。やむを得ず使用する場合はシーリング材が完全硬化した後で使用してください。
- ⑮シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類などにより、塗膜が付着しない場合や汚染することがありますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。

- ⑯目地幅、隙間幅が大きい場合や建物やボードの動きの激しい部位のシーリング部への塗装は塗膜が割れる場合がありますので避けてください。
- ⑰塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色相差や光沢差がでることがあります。とくに補修塗りを行なう際、ローラー塗り、刷毛塗りが混在する場合は同一希釈量で行ない、補修塗りは最小範囲で行なってください(目立ちにくくなるように塗装してください)。
- ⑱ローラーや刷毛など同一面で塗装方法が異なる場合、使用量や塗装表面状態が異なるため若干色が変わって見えますのでご注意ください。
- ⑲気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ⑳規定の塗布量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発揮されない場合がありますので標準塗布量を守って塗装してください。
- ㉑塗り替え塗装で既存塗膜が2液溶剤系フッ素樹脂塗料、2液溶剤系シリコン樹脂塗料、弾性スタッコ、弾性リシン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに影れている、また既存塗膜表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その上に塗装しますと膨れがさらに大きくなる可能性がありますので、上記の場合は既存塗膜を完全に除去してください(とくに部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発砲ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の場合は注意が必要です)。
- ㉒使用後は塗装器具メーカーの指示に従い、適切な洗浄および保管をしてください。
- ㉓希釈率は試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈率は色や施工条件により、変化しますのでご了承ください。
- ㉔建物の構造や部位、仕上げ、環境条件などによっては本来の低汚染が発揮されない場合があります。
- ㉕著しくかびや藻の発生しやすい環境下では防かび、防藻効果が十分に発揮されない場合があります。
- ㉖塗料の過剰希釈は仕上がり不良になることがあります。規定内の希釈量で塗装してください。また、塗料が濃色の場合、色相によっては2回塗りでは隠べいしない場合があります。その場合は塗り回数を増やしてください。
- ㉗材料の保管は直射日光を避け、雨露のあたらない冷暗所に保管してください。

「シルビアWシリーズ」の取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないよううにしてください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、凍結を避け、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 材料は中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

- | | | | |
|--------|-----------------------------|----------------|------------------|
| 東京営業所 | 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 | ☎(03)3913-6203 | FAX(03)3913-6323 |
| 平塚営業所 | 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 | ☎(0463)23-2135 | FAX(0463)23-3739 |
| 名古屋営業所 | 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 | ☎(0566)81-8111 | FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 | 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10 | ☎(06)6386-8492 | FAX(06)6338-3560 |
| 広島営業所 | 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 | FAX(082)423-8256 |
| 福岡営業所 | 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎(0942)89-5766 | FAX(0942)89-5762 |

● 日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>

■代理店